

ひろば

令和7年3月発行

【編集・発行】
大分県公民館連合会
大分市府内町3-10-1
電話 097-506-5561

今こそ公民館の出番です

大分県公民館連合会
前会長 中野 五郎

令和7年がスタートしました。各公民館活動も軌道に乗っているものと思います。

昨年、第75回九州地区公民館研究大会は大分を会場に開催されました。県公連に集う関係者が協力し、企

画・運営や諸々の準備を万端整え当日を迎えましたが、台風10号の襲来で急遽オンライン開催になりました。充実した大会に注力された皆様に感謝いたします。準備過程で培ったノウハウ等は、成果としてこれから実践に必ず活かされるものと信じています。

さて、私事で恐縮ですが、去る1月19日、臼杵市長を退任しました。したがって、約16年間務めさせていたいたい県公連会長を辞任させていただきます。皆様のお役にあまり立つことは出来ませんでしたが、ご理解ご協力に心から感謝とお礼を申し上げます。

私の公民館活動への想いや期待を述べ挨拶といたします。

市長就任以来、16年間毎月欠かさず市報に市民宛のメッセージを書いてきました。そのタイトルに「ろばこん通信」と名づけました。昭和20年代初期に京都府の小さな町で実践された『囲炉裏端懇談会』にちなみました。敗戦後の日本は、まさに「国破れて山河あり」の状況でした。町や村は戦地から帰ってきた若者、海

外引き揚げ者であふれていました。食料難で明日が見透せないなか、郷土を立て直すとの覚悟と使命にかられた青壯年が仕事を終えて集い、熱心に話し合った場所が囲炉裏端でした。懇談から地域づくりの方向や目標が決められ実践に移されました。その後、その取り組みが全国に広がり、郷土再興の力となりました。地域づくりの原点は囲炉裏端でした。

今、世の中は大きく変化しています。フェイズは違いますが地域が危機であることでは共通しています。

人口減少、少子高齢化問題も深刻になっています。80才以上の高齢者が多数を占め介護問題が深刻化します。一人暮らしの老人の孤独・孤立対策も大きなテーマになります。地域の祭りや行事の継続も危惧されます。地域の様々な分野における担い手不足、後継者育成は喫緊の課題です。放置すれば地域破壊残るは山河のみの状況になることが心配です。住民が諸課題を自分事として捉え、実践する人を育てることが出来ます。明日の地域をどうするか、誰が担うのか、浮沈に直結する大きなテーマです。待ったなしです。困難をともないますが歴史や実績からみても公民館への期待は大きいです。公民館の出番です。

長い間、支えていただきありがとうございました。困難をともないますが歴史や実績からみても公民館への期待は大きいです。公民館の出番です。

第46回全国公民館研究集会 第75回九州地区公民館研究大会 第75回大分県公民館研究大会

公民館関係職員研修会

講師 公益社団法人全国公民館連合会

公民館連合会

▼大会概要

大会概要

「糸を紡ぐ公民館」

（持続可能な人づくり・地域づくりを目指して）
令和6年8月29日・30日に
大分市で開催予定だった本大
会は、台風10号の影響により、対面開催を中止し、オンラインマ
ド配信に開催方法を変更しました。これに伴い、令和7年1月
14日（火）から2月7日（金）までの期間、参加者が自由に視
聴できる形で配信を行いました。



▼参加予定数

1
304名（申込者、発表者、来賓、役員、実行委員等）

分科会概要

第1分科会	地域づくりと公民館
第2分科会	自治公民館活動
第3分科会	地域における防災・減災教育
第4分科会	家庭教育支援（子育て・家庭教育支援）
第5分科会	多世代交流
第6分科会	人権教育

▼全体会・記念講演

全体会では、羽衣国際大学教授でありタレントとしても活躍する、にしやんた氏を講師に、「『共感の笑顔』～地域社会を支える公民館～」と題した記念講演を行いました。にしやんた氏からは、自身の経験を交えながら、多様な価値観を認め合い、地域の中で共感を生み出すことの大切さについてお話をいただきました。

▼実行員会事務局より

対面開催の準備を進める中で、台風の影響による急な変更が求められる状況となりましたが、多くの皆様のご支援とご協力により、無事にオンライン配信を完了することができました。また、オンライン配信を視聴できなかつた方や、もう一度学びを深めたい方のために、DVDを配布しております。各公民館での研修や会議の場でご活用いただき、公民館活動の充実に役立てていただければ幸いです。

関係者の皆様、参加者の皆様、誠にありがとうございました。

内 容 參 加 者 期 会 場 日

令和6年10月18日（金）
大分県立図書館 第2・第3研修室
40名

テーマ別研修会①



参加者の声（アンケートから）

○講義Ⅱ	講師	別府大学文学部人間関係学科
＊「今を生きる私たち―部落差別、なぜ、ありえないはずのものが、ありつづけるのか?―」	教授	長尾　秀吉　氏
講師　大分県人権教育・啓発推進協議会	長尾　秀吉　氏	
人権啓発講師　一法師		
英昭　氏		

参加者 内 容

内 容 参 加 者 会 場 期 日
32名 大分県立図書館 令和7年1月31日(金)
第2回

テーマ別研修会②

- ・公共性の高い施設であるがゆえにもつと解放すべきとの声も高まっている。縮小されていく人材の中で、研修内容がとても参考になつた。
- ・新たに目線に気づく事ができた。
- ・午後のマンダラートのテーマ設定がなかなか難しかつた。

講師	公益社団法人全国公民館連合会
事務局次長	村上 英巳 氏
○研修2	タレント・Y o u T u b e r わさびちゃん
演習（グループワーク）	「みんなで考える！公民館と地域のミライ」
講師	公益社団法人全国公民館連合会

優良公民館紹介

第77回優良公民館（文部科学大臣表彰）

由布市挾間公民館

館長 馬見塚 量治

このたび、第77回優良公民館として表彰いただいた。これまでご支援いただいた皆様、地域の皆様に心より御礼申しあげたい。

挾間公民館のある挾間地域は大分市に隣接しており、平成17年の市町村合併当時から比較して地域人口は約1,800人程度増加している。人口流入や核家族化等による、地域とのつながりの希薄化などを課題ととらえ、公民館では地域と継続的なつながりを持つ機会・きっかけの提供に取り組む活動を大切にしている。

はさま地域放課後こども教室「学楽多塾」の取組

挾間地域の小学生1,193人中、登録者数は545人となっており、

約46%の児童が登録している。

取組の成果

開催している教室が利用しやすいのはもちろん、子どもたちの興味を引き付ける内容になるよう工夫した。その活動が評価され、これまでに3度の文部科学大臣表彰を受けている。



学楽多塾の卒業生とお菓子作り

ジュニアリーダーの取組

定例会議を月に2回行い、活動内容の企画・振り返りを行っている。公民館活動の支援を中心に、活動の幅と個々の資質向上にも努めている。現在、加入者21人で構成され、年間の活動は51回行い、延べ401人が参加している。



地域のお祭りで縁日出店



学楽多塾のいちご狩り支援

ントとしての経験を積むことで、自らの視点を広げる機会となつた。

● ジュニアリーダーを卒業した子どもたちが「シニアリーダーとして関わり、また成人した後は「若者活動隊」という自主グループを主宰し、市政懇談会で地域の問題を提起するなど、地域のイベントにジュニアリーダーと共に参加し活動を続け、将来地域を担う人材として期待されている。

子ども会の解散やPTA加入者が減少している昨今、ジュニアリーダーの果たす役割は大きく、活動を通じて異年齢同士の交流や地域活動等、今後さらに充実した取組を推進していく必要性を感じている。今後も一層、魅力的な講座や事業を実施していくとともに、地域活動の拠点として、そして生涯学習の場として、ソフト、ハード両面からなお一層の充実を図りたい。



地元小学校に贈呈！
親児の会と一緒に門松作り

地区公連発

大分地区公民館連合会



大分地区公民館連合会は、公民館相互の連絡連携を図り、公民館活動の振興発展に寄与することを目的としている。事務局は、大分市、由布市、臼杵市、津久見市の4市が2年ごとに担当し、主催する形で年2回の研修会を実施している。この研修会は、公民館関係職員の資質の向上を目的とし、情報交換や調査・研究などを実施している。

令和6年度の第1回目の研修会は、令和6年5月10日（金）に津久見市の市民ふれあい交流センターで開催され、ことの葉クローバー代表の松本久美子氏を講師に迎え、「コンプライアンス社会を生きる（言語・非言語のコミュニケーション）」と題して講演会を実施した。

第2回目の研修会は令和7年2月20日（木）に津久見市民会館で開催され、各市から約40名が参加し、午前中は講演会、午後からは事例発表と情報交換を行った。

講演会では、国立大学法人大分大学減災・復興デザイン教育研究センター長の鶴成悦久氏を講師に迎え、「近年の災害から学ぶこと（持続可能な減災社会に向けて）」と題して講演が行われ、公民館施設の避難所としての役割や、高齢者、障がい者、妊婦、子ども、外国人など支援が必要な方々への適切な対応について学ぶ貴重な機会となつた。

午後の事例発表では、2つのテーマに沿つて大分市と由布市が発表を行い、社会人権教育研究部会から大分市が「大分公民館の取り組みから由布市が「次代を担う青少年リーダーに求めること（由布市青少年リーダーの育成）」について発表を行つた。

大分地区公民館連合会は、次年度以降も研修会を重ね、公民館活動の活性化に努めていきたい。

大分地区公民館連合会
事務局長 仲野 雅史

豊佐地区公民館連合会

豊後大野市緒方公民館は、令和3年4月1日より一般社団法人「ここからプラス」が指定管理者として管理運営にあたつていて。以降、地域における住民同士のつながりの希薄化や少子高齢化といった現代社会の課題を見据え、当公民館では「世代間交流」を重要視して活動に取り組んでいる。

今年度は新たな取組として、小学生の夏休み期間中に「おがたん子ども体験塾」を企画した。この体験塾は、その道の達人から学び、地域の方々や家族と成果を喜び合うことで達成感を味わつてもらうことを目的とした。小学校1・2年生は「体操の達人」、3・4年生は「カフェ店員」、5・6年生は「料理人」を目指し、事前学習を行い、本番発表を行つた。

このうち3・4年生が挑戦した「おがたんカフェ」の開店内容を紹介する。3・4年生は開店までに、接客・メニュー作り・店内装飾を行つた。



豊後大野市緒方公民館
公民館主事 油布 由香

今後も、行政や学校・企業・団体と協働・連携しながら、地域における人と人とのつながりを大切にする話題となり、世代間交流に繋がつた。

カフェで働く子どもたちの姿が共通の話題となり、世代間交流に繋がつた。当日は保護者だけではなく、町外の住民や在留外国人など107名のお客様が来店し大好評だった。子どもたちも自分の役割をこなし、「ありがとうございました」という言葉をもらい、達成感と充実感を味わつた。普段会話をする機会の少ない同士でも、外の住民や在留外国人など107名のお客様が来店し大好評だった。子どもたちも自分の役割をこなし、「ありがとうございました」という言葉をもらい、達成感と充実感を味わつた。普段会話を

を行うことで自信をつけていった。

わ が ま ち 公 民 館



呉崎公民館では、様々な教室やイベントを開催し、地域住民が自分の興味や趣味を深めたり、新しい仲間や知識を得たりできるように努めている。地域住民の団体や個人が自由に活動できるよう支援し、地域づくりへの参加を促すための情報提供や相談窓口として機能している。

当館の活動として、一昨年5月に、コロナ禍の中、職員でコキアの種を植え300個の苗を育てた。老人クラブや利用者の方々に自宅や空き地に苗を植えて育てていただき、11月末に収穫した。真っ赤な紅葉とはならなかつたが、ホウキ作りの材料として充分な量を収穫し、高年大学やわくわく体験教室でホウキ作りを実施した。わくわく体験教室では、高年大学の方々が講師になり、あらかじめ下準備の後、子どもたちが束ねて結ぶ作業を行つた。この取組を通して、コキアの種からホウキができるまでの過程



わくわく体験教室・ホウキ作り



コキアの苗

呉崎公民館では、様々な教室やイベントを開催し、地域住民が自分の興味や趣味を深めたり、新しい仲間や知識を得たりできるように努めている。地域住民の団体や個人が自由に活動できるよう支援し、地域づくりへの参加を促すための情報提供や相談窓口として機能している。

を体験し、地域の自然や文化に触れることができた。また高齢者とともに私たちが協力してホウキ作りをすることで、世代間交流や学びの場にもなった。このような活動は、地域の魅力や価値を高めるだけでなく、地域の人の心をも温めるものだと思つ。

ほかにも、一昨年主催教室として始めた麻雀教室が大好評につき、高齢者（80代）を対象とした雀サロンを立ち上げ、現在は週2回活動している。

豊後高田市
吳崎公民館

吳崎公民館

館長 清水 美恵子

核としての使命を果たすべく館運営を行つてゐる。地域のつながりを深めただけでなく、



歌の音(おん)わか教室



見立て細工を作ろう

このような現象を踏み、地域40%を超え、人口減少も顕著である。また、独居高齢者の割合も高い。

今後も地域に寄り添い地域と共に成長していく公民館を目指していきたい。

南部地区公民館は、平成3年、浜脇再開発事業を受け、温泉や店舗のある複合棟の中に開館した。本公民館は、別府市の南東部の浜脇地区・南地区に位置している。昭和初期までは別府の中心地だった両地区であるが、時代とともにかつての賑わいは薄れていった。現在、南地区には11の自治会、浜脇地区には6の自治会があり、

りとして声が多く聞かれていた。
子ども対象の講座では、できる限り地域から指導者を招くようにし、子どもたちと地域とのつながりを育んでいる。また、企画段階から放課後児童クラブとの連携を行っている。クラブとしては過密

別府市 南部地区公民館

南部地区公民館

館長 姫野 造樹

次世代を担う子どもたちの育成も
大切である。

次世代を担う子どもたちの育成も
大切である。

6



2024年度 (2024年5月1日午後4時～2025年5月1日午後4時)

公民館総合補償制度

本制度は、公益社団法人全国公民館連合会(全公連)の制度です。市町村の公民館および自治公民館、また公民館に準するものとして全公連が加入を認めたその他の施設等は、名称を問わずに加入いただけます。指定管理者制度を導入された施設もご加入いただけます。

3つの補償で公民館活動をサポート

1. 行事傷害補償

【災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)+見舞金制度】

保険

- 公民館行事参加者のケガを補償
- 公民館利用者のケガを補償
- 行事往復途上のケガを補償
- 行事の事前練習や事前準備、後片付けでのケガを補償
- 食中毒や熱中症を補償

見舞金制度

- 疾病や特定傷害に、疾病死亡弔慰金、疾病入院見舞金をお支払いします。
- 特定災害による損害に、特定災害見舞金をお支払いします。

【補償例】



●バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

2. 賠償責任補償

【賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約)】

保険

- 公民館の施設・設備等*の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、財物を損壊したことにより、公民館が法律上の賠償責任を負担しなければならない場合に補償

*公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象なりません。

*施設にある昇降機(エレベーター、エスカレーター)の所有、使用、管理に起因する賠償責任も含みます。

【補償例】



●テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

3. 職員災害補償

【傷害総合保険(就業中のみの危険補償特約、入院保険金支払限度日数変更特約(支払限度日数180日))+見舞金制度】

保険

- 公民館事業や業務に携わる方の公民館業務中のケガを補償

見舞金制度

- 公民館事業や業務に携わる方の病気や特定傷害、業務外のケガ、業務中の地震によるケガに死亡弔慰金や入院見舞金をお支払いします。

【補償例】



●職員が業務中に脚立から転落して負傷。

公民館総合補償制度の特長

(1) 補償範囲や対象者が広い、公民館専用の制度です。

- 全公連が運営する「見舞金制度」に「保険」を組み合わせた公民館や類似公民館の専用の制度で、安心して公民館活動を行っていただけるよう幅広い補償になっています。

★行事傷害補償制度のここがおすすめ★

- 日本国内であれば行事の場所は問いません。※別に定める危険な運動中等は対象外です。
- 行事参加者や利用者の居住地は問いません。
- 公民館公認のサークル活動参加者や有償・無償を問わずに公民館ボランティアや講師も補償します。
- 公民館が他の団体等の行事に派遣する行事の参加者も補償します。
- 宿泊を伴う行事も対象です。

(2) 年1回の手続きで安心です。

- 年1回の手続きで年間の主催、共催行事が対象になり、個別の行事の通知は不要です。うっかりして保険の手配を忘れる心配がありません。

(3) 掛金の割引制度もあります。

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入されると、行事傷害補償制度掛金に割引が適用できます。
- 職員災害補償の保険料には、団体割引25%、過去の損害率による割引15%を適用しています。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては「2024年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き」をご覧ください。
また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー総合補償サービスまたは損保ジャパンまでお寄せください。

■引受保険会社

損害保険ジャパン株式会社

公務文教営業部 文教室

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL 03-3349-4679 FAX 03-3348-0238

(受付時間: 平日9:00～17:00)

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)

エコー総合補償サービス株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9

TEL: 0120-636-717 (通話料無料)

FAX: 0120-226-916 (通話料無料)

